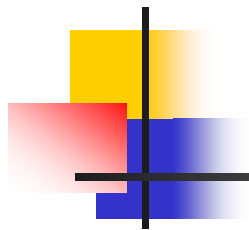


i.MX6x製品の開発対応について

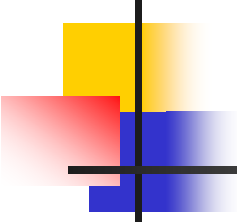
アイウェーブ・ジャパン株式会社



背景



- iMX6xのリリース予定は、現時点ではLinux版は4月頃、WEC7は6月頃となっていますが、お客様からの開発要求が逐次参っており、対応の可能性について情報を提供する必要があります。
- また、i.MX6xの製品が安定して動作するまでには、ある程度時間がかかり遅れるおそれがあります。
- お客様をお待たせする時間を最小限にし、そのご要求にお応えする方策が求められています。



先行開発着手の可能性

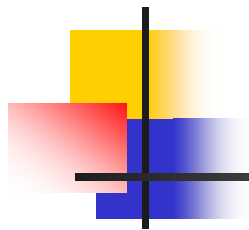


◆ i.MX51, i.MX53 SOMによる先行開発

- Q7及びMXMモジュールのバスインターフェイスは、共通になっており、キャリアボードを先行して開発してもその資産は、無駄にはならない。
- ドライバインターフェイスも同一なので、先行開発したアプリケーションをi.MX6 x でも使用できるため、i.MX6 x のリリーススケジュールに依存せず開発を進める事が可能である。

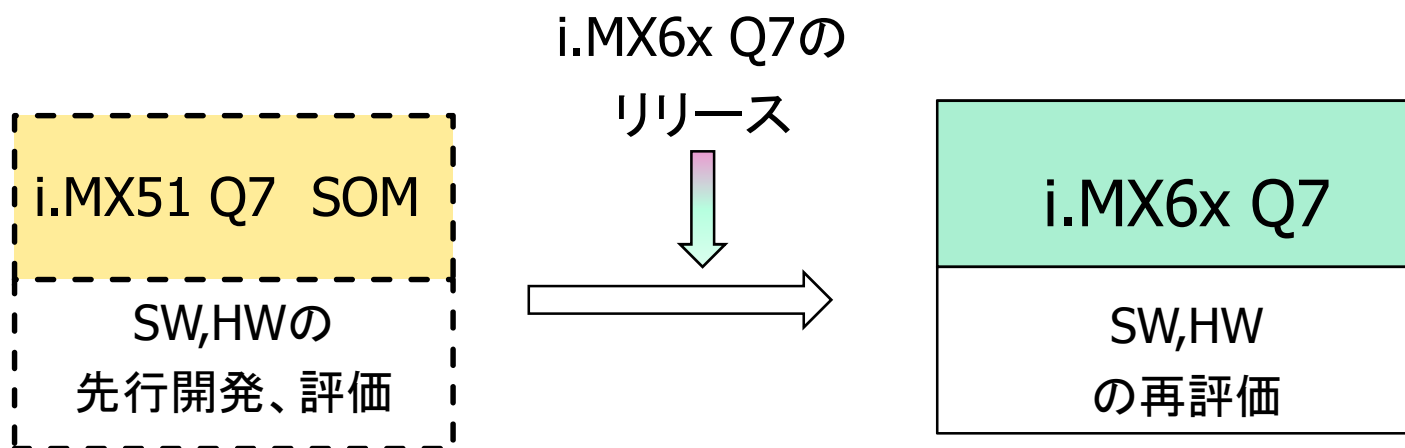


今すぐの開発に着手することが可能



その1 – Q7 SOMの場合

- ◆ i.MX51 Q7 SOMで、ハード、ソフトを評価し、i.MX6Q Q7モジュールが出てきた時点で置換え



その2 – MXM SOMの場合

- i.MX53 MXM SOMで、ハード、ソフトを評価し、i.MX6x MXMモジュールが出てきた時点で置換え

